

# 水質(経年変化)の評価

## 経年的水質の検証結果及び評価

項目	検証結果	評価
環境基準の満足状況	<ul style="list-style-type: none"><li>• BODは、平成19年、平成24年の伊勢大橋地点を除き、環境基準を満足している。</li><li>• DO、pH及びSSは、平成6年以降いずれの地点においても環境基準を満足している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 河口堰の運用は環境基準の満足状況に悪影響を及ぼしてはいない。</li></ul>
DOの状況	<ul style="list-style-type: none"><li>• 堰上流域のDOは、平成10年頃までは増加傾向が見られたが、その後は経年的に大きな変化は見られない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 堰上流域のDOの状況については、特に問題は見られない。</li></ul>
有機物の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>• 有機物の指標であるBOD、CODともに、堰上流域において経年的に大きな変化は見られない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 堰上流域の有機物の状況については、特に問題は見られない。</li></ul>
全窒素と全リンの状況	<ul style="list-style-type: none"><li>• 堰上流域の全窒素は、平成18年頃から減少傾向が見られる。</li><li>• 堰上流域の全リンは、平成16年頃までは減少傾向が見られたが、その後は概ね横這いで推移している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 堰上流域の全窒素及び全リンの状況については、特に問題は見られない。</li></ul>
クロロフィルaの状況	<ul style="list-style-type: none"><li>• 堰上流域のクロロフィルaは、主に夏季に一時的に値が上昇する傾向が見られるが、経年的に大きな変化は見られない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 堰上流域のクロロフィルaの状況については、特に問題は見られない。</li></ul>



# 水質(経年変化)の評価

---

## 今後の課題

- 今後も水質調査を継続し、水質状況の把握並びに監視に努める。